株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031
東京都中央区京橋三丁目1番1号
TEL:03-3275-6300（代表） FAX:03-3275-6350
mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

●本書では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

ちびまる子ちゃん
©さくらプロダクション/日本アニメーション

「ちびまる子ちゃん」（フジテレビ系列）で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中！

株式会社ミツウロコグループホールディングス

第109期 株主通信

2017年4月1日～2018年3月31日

Investors' Note ～Mitsuuroko Overview～ 109th

感動を、次々と。

私たちは、いつの時代も暮らしのエネルギーとなる商品、
未来を拓くチカラとなるサービスを、より多くの人へ街へ、届け続けます。

エネルギー事業

LPガス、石油、
新エネルギー機器等の販売、
物流サービス

フード&プロビジョンズ事業

清涼飲料水製造・販売、
飲食店や施設内売店・カフェテリアの運営、
バーガーレストラン、
ハンドメイドベーカリー・カフェの運営、
ボランタリー・チェーンストアの経営等

電力事業

風力発電、バイオマス発電、
メガソーラー発電、
電力会社への電力卸売販売、
一般需要家への電力小売販売

その他事業

一般事務用機器等のリース、
料金収納代行、システム開発、
各種保険の取り扱い等

PM / 健康・スポーツ事業

オフィスビル、マンション等の賃貸、
複合商業施設の経営

ミツウロコグループの事業領域

DATAで見るミツウロコグループ

売上高
2,113億円
第109期連結 2017年4月1日～2018年3月31日

経常利益
48億円
第109期連結 2017年4月1日～2018年3月31日

設　立
1926年（創業1886年）

従業員数
1,801名
2018年3月末

エネルギー事業店舗数
79店舗
2018年3月末

フード&プロビジョンズ事業店舗数
342店舗
2018年3月末

再生可能エネルギー発電量／年間
2億3千万kWh

LPガス供給軒数
約80万軒
2018年3月末

長期的・持続的な企業価値拡大のための投資戦略を実行し、新しい価値を提供してまいります

当連結会計年度における我が国の経済情勢は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、雇用、所得環境や企業収益に改善傾向が見られるなど緩やかな回復基調が継続いたしました。一方、海外では米国政権による政策動向や極東地域・中東情勢等の地政学リスクなどによる海外経済の不確実性により、景気動向は依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、少子高齢化や人口減少、節電の定着も含めた国内需要の停滞や、電力・ガス自由化等の流れにより競争が激化し、引き続き不透明な状況で推移いたしました。一方で、IoTやAIといった技術革新を活用した新サービスや、グローバル市場、自由化による新たな国内市場など、成長への新たな市場ポテンシャルも存在し、加えて分散化、自由化、技術革新等により、電力・ガスビジネスのバリューチェーン自体が変容していく可能性も潜在し、今後エネルギー事業者には、安定供給を担う主体として、事業領域の拡大や異分野への進出、新サービス創出など、より機動的・総合的な対応が求められます。

このような状況下、当社グループは、更なる競争力の強化と、より効率的かつ有効な経営戦略の構築を主な目的として、2017年10月に当社グループ内の事業・組織再編を実施いたしました。エネルギー事業におきましては、各地域の特性を活かした営業戦略を展開していく体制を整えました。また、フード&プロビジョンズ事業におきましては、拡大していく事業を迅速かつ効果的に組織運営し、ブランドマネジメントや事業の統合的な管理を行うことを目的とする中間持株会社として、株式会社ミツウロコヴォイジャーズを設立いたしました。

これにより総合エネルギー企業として、コア事業であるエネルギー事業の基盤を確固たるものとした上で、成長領域への積極投資や取引販売店網を活用した他事業とのシナジー等を追求し、一回り大きな企業グループへの変革を目指してまいります。またグループ全体の業務効率化に向けて、業務集約の効果を最大化するため積極的にRPA（Robotic Process Automation）技術を活用しています。こうした状況下、石油製品全般において原油価格の上昇による影響を受けた一方で、様々な業務コスト削減策の取り組みにより経営の合理化を進めるとともに、エネルギー事業の拡大を図るため新規顧客の獲得や各事業での積極的な展開に努めた結果、当期売上高は前期比2.8%増の2,113億43百万円、営業利益は前期比1.5%増の39億53百万円、経常利益は前期比2.6%増の48億64百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比8.0%増の29億13百万円となりました。

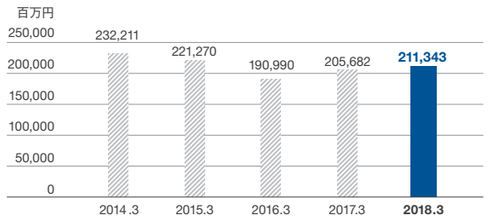
当社グループは変革期を迎え、長期的・持続的な企業価値拡大のための投資戦略を実行し、お客様に新しい価値を提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動にご理解をいただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

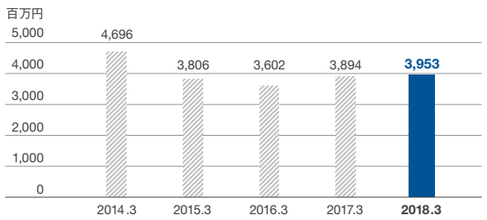
代表取締役社長 グループ CEO
田島 晃平

業績ハイライト

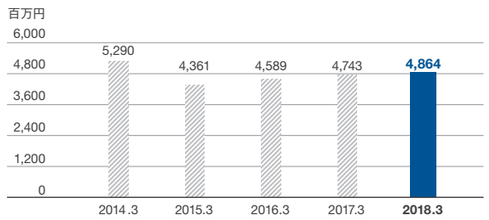
売上高



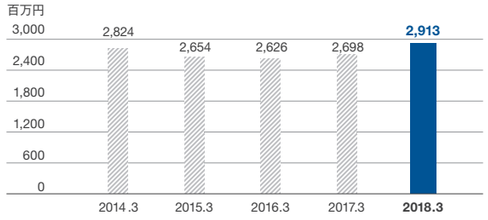
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



当期売上高

1,359億52百万円

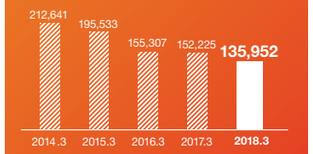
前年同期比 10.7%減↘

当期営業利益

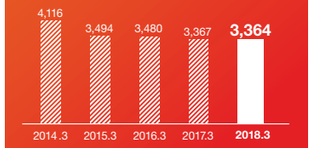
33億64百万円

前年同期比 0.1%減↘

売上高推移（百万円）



営業利益推移（百万円）



エネルギー事業

LPガス事業では、ガス+光+電気によるセット販売に加え、「ミツウロコあんしんバリュー」や「ミツウロコでんき安心サポート」の展開など、お客様への安心・安全の品質向上に努めております。

石油事業では、中古車買取事業「カークル」7店舗運営に加え、2017年7月より新たに開始したレンタカーサービス「カークルレンタカー」では5店舗を新規出店し、自動車関連事業の充実に努めております。

しかし、石油製品全般における原油価格の大幅な上昇による石油需要減退や業界再編を始めとする統廃合が進む中、売上高は前期比10.7%減の1,359億52百万円、営業利益は前期比0.1%減の33億64百万円となりました。

Topics

お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせ、様々な取り組みにより更なるサービス向上

ミツウロコグループでは、当社グループを取り巻く経営環境の変化に応じ、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせ、様々な取り組みを行い、顧客満足度を高め、更なるサービスの向上とお客様への安心・安全の品質向上に努めております。

セット割引

「ガス+光+電気」のセットプランで割引価格により提供し、顧客満足度を高め、新規顧客獲得を展開

料金の見える化

ホームページにて標準的な料金を公表し、LPガス料金の透明化を促進

駆けつけサービス

「ミツウロコあんしんバリュー」（ガス機器の保証、水まわりやカギのトラブル、優待サービスを受けられるサービス）によりお客様との更なる接点を強化

請求書のWEBポータル化

インターネット環境から直接請求・検針情報を照会できるポータルサイトをお客様へ提供し、利便性を向上

当期売上高

550億68百万円

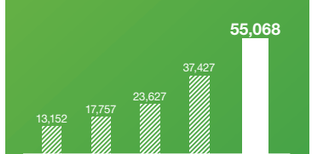
前年同期比 47.1%増↗

当期営業利益

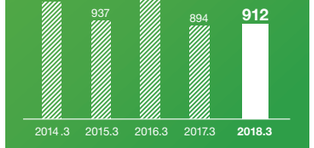
9億12百万円

前年同期比 2.1%増↗

売上高推移（百万円）



営業利益推移（百万円）



電力事業

小売電気事業では、2016年4月よりスタートした電力の小売全面自由化に伴い、家庭用電力サービスの提供を開始し、本年度より新たに中国エリア、北海道エリア、北陸エリアにおいても電力サービスのエリアを拡大し、販売拡大に努めてまいりました。また、従前の高圧電力販売の需要も、低廉な電力への注目度の高まりから増加いたしました。その結果、売上高は前期比47.1%増の550億68百万円、営業利益は前期比2.1%増の9億12百万円となりました。

Topics

「ミツウロコでんき」全国での電力供給開始。

「ミツウロコでんき」では2017年10月1日より、北陸電力エリアにて、家庭向け電力の提供を開始いたしました。これにより沖縄・離島を除く全国にて「ミツウロコでんき」の供給が可能となりました。

当期売上高

140億77百万円

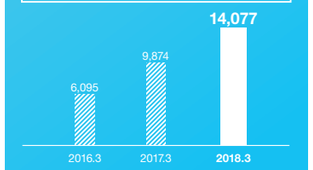
前年同期比 42.6%増

当期営業損失

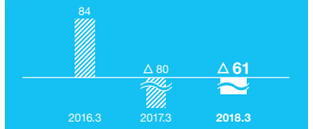
61百万円

前年同期比 19百万円改善

売上高推移（百万円）



営業利益推移（百万円）



フード&プロビジョンズ事業

2017年4月に3号店となる「カールスジュニア自由が丘レストラン」をオープンしたことに加え、ハンドメイドベーカリー「麻布十番モンタボー」や本格喫茶「元町珈琲」、新ブランド「モトマチ コーヒーアンドブレッド」を運営する株式会社スイートスタイルが当社グループに加わり、更なる事業の拡大をいたしました。

また、2017年10月より、株式会社ミツウロコグローサリーが運営する新業態の飲食店舗『MG（Mitsuuroko Grocery）』ブランドの店舗展開を開始しております。その結果、売上高は前期比42.6%増の140億77百万円、営業損失は前期比19百万円改善の61百万円（前期は80百万円の営業損失）となりました。

Topics

株式会社ミツウロコヴォイジャーズ設立

ミツウロコグループでは2003年にナチュラルミネラルウォーターの製造販売を開始してから15年、「食」の分野の事業を拡大してきました。株式会社ミツウロコヴォイジャーズは拡大する事業を統括する会社として2017年10月1日に発足しました。今後はグループ会社が保有する飲食店舗ブランドを積極的に拡大するだけでなく、各ブランドの一層のシナジーの追求や成長に欠かせない投資や人材育成を推進し、「食」の分野における新たな価値を創造していきます。

MG mitsuuroko grocery

MG（Mitsuuroko Grocery）

モトマチ コーヒーアンドブレッド

麻布十番モンタボー

元町珈琲

当期売上高

27億40百万円

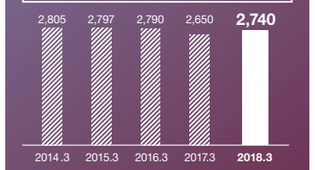
前年同期比 3.4%増

当期営業利益

4億34百万円

前年同期比 1.0%増

売上高推移（百万円）



営業利益推移（百万円）

PM/健康・スポーツ事業

健康・スポーツ事業では、「横浜天然温泉SPA EAS（スパイアス）」において、温泉・温浴施設情報専門サービス「@nifty温泉」が発表した「第12回@nifty温泉 年間ランキング」にて全国総合第3位を受賞し、世界最大のホスピタリティ評価サイトであるtripadvisor®からは、“CERTIFICATE of EXCELLENCE”「エクセレンス認証」に認定されました。

また、PM（不動産賃貸）事業では、2017年11月に東京都港区麻布十番に商業施設と住居が一体となった複合施設「ラベイユ麻布十番」を竣工いたしました。その結果、売上高は前期比3.4%増の27億40百万円、営業利益は前期比1.0%増の4億34百万円となりました。

Topics

L’Abeille Azabu Juban ラベイユ麻布十番 誕生

商業施設と住居が一体となった複合施設「L’Abeille Azabu Jubanラベイユ麻布十番」が麻布十番（東京都港区）に誕生いたしました。ラベイユ麻布十番は地下2階、地上12階建で、地下2階から地上3階は商業施設、地上4階から12階が住居用賃貸マンションになっており、居心地のよい快適な空間をご提供いたします。

施設名の「L’Abeille ラベイユ」はフランス語で“蜜蜂”を意味しており、蜜（幸福や富）を運び、地域社会から愛される建物となることを祈念して命名いたしました。

当期売上高

35億3百万円

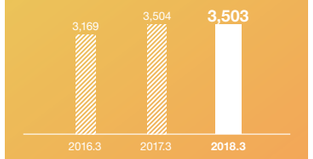
前年同期比 0.0%減

当期営業利益

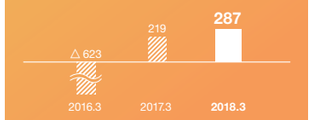
2億87百万円

前年同期比 30.9%増

売上高推移（百万円）



営業利益推移（百万円）



その他事業

リース事業においては、リスク債権の減少等により貸倒引当金戻入益1億61百万円を計上いたしました。また、新たに液石法の改正に則り、料金透明化に向けてLPガス販売管理システムである「COSMOSシリーズ」の拡販を行っております。

その結果、売上高は前期比0.0%減の35億3百万円、営業利益は前期比30.9%増の2億87百万円となりました。

Topics

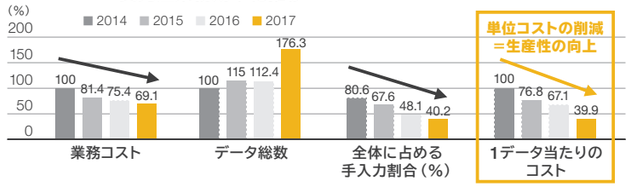
先端技術の積極的な活用による業務の標準化・高度化への取り組み

RPA※の積極的活用による生産性向上

株式会社ミツウロコクリエイティブソリューションズでは、シェアードセンターとしてグループ各社から受託する経理業務や給与業務等において積極的にRPA技術を活用し、間接業務コストの削減に取組んでいます。特に受発注業務では業務プロセスや帳票のフォーム統合等を並行して行い、入力業務の60%を自動化し、4年間で単位コストを60%削減しました。

※ Robotic Process Automationの略号

受発注業務効率化推移（単位：%）2014年度＝100とする



LPガスの配送業務効率化に向けた国内初の大規模実証を名古屋で開始

2017年5月、業界に先駆けて発表した、日本電気株式会社、京セラコミュニケーションシステム株式会社との協業によるAI・IoTを活用したLPガス業務効率化ソリューションへの取り組みは、株式会社ミツウロコヴェッセル中部の需要家数千軒を対象とした国内初の大規模実証実験を今夏より開始し、2020年3月期までの実用化に向け着実に準備を進めております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月 1日から 2017年3月31日まで
売上高	211,343	205,682
売上原価	178,426	174,129
売上総利益	32,916	31,553
販売費及び一般管理費	28,963	27,658
営業利益	3,953	3,894
営業外収益	1,377	1,310
営業外費用	465	461
経常利益	4,864	4,743
特別利益	26	100
特別損失	201	433
税金等調整前当期純利益	4,689	4,410
法人税、住民税及び事業税	1,729	1,702
法人税等調整額（△は純損失）	△30	△57
当期純利益	2,991	2,765
非支配株主に帰属する当期純利益	77	66
親会社株主に帰属する当期純利益	2,913	2,698

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	前期 2016年4月 1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,613	5,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,788	△2,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,763	△5,389
現金及び現金同等物の期末残高	37,098	35,037

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期 2018年3月31日現在	前期 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	67,870	65,304
固定資産	69,970	66,205
有形固定資産	34,694	34,761
無形固定資産	3,750	3,229
投資その他の資産	31,524	28,214
繰延資産	19	27
資産合計	**137,860**	**131,537**
負債の部		
流動負債	35,654	29,388
固定負債	24,239	27,667
負債合計	**59,894**	**57,055**
純資産の部		
株主資本	69,299	67,966
その他の包括利益累計額	8,283	6,165
非支配株主持分	384	350
純資産合計	**77,966**	**74,482**
負債純資産合計	**137,860**	**131,537**

当期のポイント

① 電力事業の低圧電力のサービスエリアの拡大及び高圧電力販売の需要増加、フード&プロビジョンズ事業の事業拡大に加え、その他事業においてリスク債権の減少に伴う貸倒引当金戻入益の計上による営業利益の増加により親会社株主に帰属する当期純利益が増加しました。

② キャッシュ・フローの状況は、仕入債務の増加等により営業活動でプラス126億円、有形固定資産の取得により投資活動でマイナス38億円、長期借入金の返済及び配当金の支払いにより財務活動でマイナス68億円となりました。

③ 総資産は、投資有価証券の増加等により前期比63億円の増加、負債は、仕入債務の増加等により前期比28億円の増加、また純資産はその他有価証券評価差額金の増加等により前期比34億円の増加となりました。

ミツウロコを
支えるネットワーク

「全国ミツウロコ会」

全国ミツウロコ会とは

全国のミツウロコの取引販売店約1,800社で構成されているのが「全国ミツウロコ会」。
会員店はその先にある約80万世帯の消費者との接点であり、ミツウロコの販売とマーケティングの要です。

全国ミツウロコ会の沿革

全国ミツウロコ会は1967年に発足した、北海道・東北・関東・中部・関西に11の支部を持つ全国組織です。発足当初から50周年を迎え、会員店数も2018年3月末で1,787店になります。それぞれの会員店はそれぞれの地域に根ざして、お客様の「豊かなくらしのにないて」となっています。

今後はLPガス小売事業者の1割にあたる会員店数2,000店の早期達成を目指します。

強固な顧客基盤が強み

全国ミツウロコ会のネットワークはミツウロコグループ独自の強みです。会員店は約80万世帯のお客様との接点です。全国ミツウロコ会では経営セミナーの開催や「ミツウロコでんき」や「ミツウロコ光」等のLPガスの枠を超えた新しいビジネスモデルの情報を提供することで会員店の競争力を強化するサポートを行っています。

このような活動を通じて、LPガスの収益基盤をより盤石にし、その顧客ネットワークを活用することでミツウロコグループの成長につなげていきます。

更なる全国ミツウロコ会ネットワークの活動活性化へ

全国ミツウロコ会は、永続的にお客様から選ばれ、感動と安心を与えられる組織として、強固な結びつきを確立し、また会員店の皆様個々の強みが存分に発揮され、常に挑戦できる環境基盤の構築に努めてまいります。

「全国ミツウロコ会」担当者インタビュー

商売の最前線で働く事業主を支援する「全国ミツウロコ会」

株式会社ミツウロコヴェッセル 営業統括部
リビング・サーキュラーエコノミー担当 兼
全国ミツウロコ会担当 兼 煉豆炭担当
鈴木 梓

ミツウロコの取引販売店を支える「全国ミツウロコ会」

「全国ミツウロコ会」は11支部で構成されており、支部ごとに会員店様に対して勉強会を開催しています。勉強会ではお取扱いいただく新製品の情報や売れ筋商品の紹介をして、会員店様のビジネスに役立つ情報を提供しています。またLPガスの取扱いには専門技術が必要ですので、資格取得のための支援も行っています。また賀詞交歓会やレクリエーションイベントを開催して、会員店様同士の交流を深めていただき、横のつながりを持てるような企画も行っています。

私の担当する本部事務局では、各支部の活動を取りまとめて全国の支部に情報発信をしています。また、本部事務局主催のミツウロコ会総会やミツウロコカレッジなどの勉強会の企画運営も行っています。

企画運営をしていく上では、会員店様の活動に役立つ情報を提供できるように、支部の担当者や会員店様の声に耳を傾けるようにしています。会員店に直接訪問することもありますが、どの会員店様もお客様との“出会い”や“対話”を大切にし、その中で様々な工夫や取り組みを進めており、地域の方々の生活を支えていることを実感します。そんな会員店様をサポートする仕事ができることに充実感を感じています。

会員店の成長がミツウロコの成長

会員店様の中には、全国ミツウロコ会ができる前から取引販売店をしていただいている会員店もあり、ご年配の方も多いです。まだ社会人経験の少ない私にとっては学ぶ機会の方が多いくらいですが、会員店様が将来も発展していけるように様々なイベントを企画運営していきたいと考えています。その一環として、今年は会員店の次世代経営者の方を対象としたマネジメントスクールを企画しています。

50年を超える全国ミツウロコ会の歴史の中で積み重ねてきたものを大切にしながら、新しいことにチャレンジして、会員店様とともに成長していきたいと思います。

会社概要

社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	44名／連結：1,801名（2018年3月31日現在）

役　員

（2018年6月22日現在）

代表取締役社長 グループCEO	田島晃平
代表取締役 グループCFO、グループCSO	渡邉雅人
取締役	二見　敦
取締役	児島和洋
取締役	川上　順
取締役	大森基靖
取締役　グループCTO、グループCIO	ゴ　ウィミン
取締役（社外）	柳澤勝久
取締役（社外）	松井　香
監査等委員である取締役（社外）	山田勝重
監査等委員である取締役	田島　謙
監査等委員である取締役（社外）	菅原英雄

株式の状況

（2018年3月31日現在）

発行可能株式総数	197,735,000株
発行済株式の総数	68,137,308株
株主数	4,316名

上位株主

（2018年3月31日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
明治安田生命保険相互会社	5,544,000	8.94
JXTGホールディングス株式会社	5,064,040	8.16
田島株式会社	4,327,000	6.97
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,681,173	5.93
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口	3,112,300	5.02
リンナイ株式会社	2,682,464	4.32
橋本産業株式会社	2,032,900	3.28
全国ミツウロコ会持株会	2,025,084	3.26
株式会社パロマ	1,685,124	2.72
株式会社三井住友銀行	1,676,331	2.70

（注）1.当社は自己株式を5,804,617株（株式給付信託（BBT）に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社の株式290,900株を除く）保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託（BBT）に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社の株式は、持株比率の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております（当連結会計年度末290,900株）。

分布状況

（2018年3月31日現在）

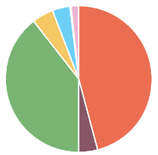
所有者別の株式分布状況

①個人・その他	10,948,566株	16.07%
②金融機関	21,259,504株	31.20%
③その他国内法人	27,867,273株	40.90%
④外国法人等	2,031,698株	2.98%
⑤金融商品取引業者	225,650株	0.33%
⑥自己名義株式	5,804,617株	8.52%

所有株数別の株主分布状況

① ～499株	1,986名	46.01%
② 500～999株	182名	4.22%
③ 1,000～4,999株	1,694名	39.25%
④ 5,000～9,999株	202名	4.68%
⑤ 10,000～49,999株	168名	3.89%
⑥ 50,000～99,999株	19名	0.44%
⑦ 100,000株～	64名	1.48%

※自己株式を除して算出しております。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日　剰余金の配当　毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（http://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合せ先

郵便物送付先	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号　みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
お問い合せ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取及び買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324（土・日・祝日を除く　9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券　本店、全国各支店及び営業所プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トランスラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行　本店及び全国各支店、みずほ銀行　本店及び全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）	
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。